

★ヘイリー・コプリー・カニンガムさん

(20歳/アメリカ・タフツピースアクション)

「原爆資料館に行き、川岸で20分泣いた。世界大会でマーシャル、グアム、沖縄の話を知るときにはそれは私の国がしたこと、涙がでた。私のすべきことはなにか。私たちの声を聞く人を選挙で選ぶことだと思った。」

平和と学費値上げ反対の行動に！

トランプの大統領選勝利を受けて、私たちは彼の政権が掲げるあらゆる不正義に反対の声をあげようと、行動へ駆り立てています。学生たちは学費値上げ反対の行動に。

アメリカ

抵抗は可能、希望の種を

ヘイリー・コプリー・カニンガムさん
(タフツ・ピースアクション会長)



ドナルド・トランプの大統領選勝利で、地域社会やキャンパスは恐怖、悲しみ、苦痛、将来への不安であふれています。同時に私



学費値上げ反対◎タフツ大学学生行動

6%値上げしています。国内でも学費の高い私立大学になっており、学費の面には四苦八苦している学生たちに、はかりしれないダメージを与えかねません。申し入れや集会などで要求を取り上げられるよう求めていきます。

12月9日、ポスト

たちを行動へと駆り立て、彼の政権が掲げる不正義に反対の声を上げる力になっています。昨年11月には、数百人の学生が、移民の学生たちにとって「安全なキャンパス」とするよう大学の保護責任を強化するよう要求しました。

市内全域の大学生が州議会議事堂前に集まり、トランプが指名した政権人事に抗議しました。イスラム系の人びとの登録制を主張し、右翼のニュースサイトを通じてヘイトスピーチをまき散らし、弱い立場の人びとの保護や社会サービスを破壊しようとしている人たちです。彼らからハワイトハウスを守ることは死活問題です。

トランプは何をするのか予測不可能です。彼の顧問は戦争や偏狭な敵対を主張しており、アメリカが保有する核兵器についてのどのような力を行使するかわかりません。

人種差別、外国人嫌悪、性差別、偏見、憎悪に反対して立ち上がることです。いま、私たちは希望の種をまいているのです。世界に対して、抵抗が可能だということを示すときです。

私もヒバクシャ署名広げます



それぞれの足元から運動し、自国の政治を変える運動でこそ、国境を超えた真の連帯が生まれる。ここ近年の発展と変化は、反核平和運動と反貧困の運動、核兵器・軍事費より、教育・福祉へ